



学校
森
林・遊々の

全国子どもサミット in 信州
報告書

もくじ

はじめに	3
「学校林・遊々の森」全国子どもサミットの目的	
学校林とは	
遊々の森とは	
プログラム	4

各小学校の取り組み

①北海道	湧別町立芭露小学校	6
②山形県	米沢市立三沢東部小学校	8
③山梨県	甲府市立相川小学校	10
④富山県	南砺市立上平小学校	12
⑤愛知県	豊田市立寿恵野小学校	14
⑥愛知県	豊田市立上鷹見小学校	16
⑦愛知県	岡崎市立生平小学校	18
⑧香川県	高松市立屋島東小学校	20
⑨長崎県	東彼杵町立彼杵小学校	22
⑩長野県	大町市立大町北小学校	24
⑪長野県	松本市立本郷小学校	26
⑫長野県	松本市立中川小学校	28
⑬長野県	松本市立会田小学校	30
⑭長野県	松本市立岡田小学校	32
⑮長野県	松本市立寿小学校	34
⑯長野県	松本市立明善小学校	36
⑰長野県	松本市立今井小学校	38
⑱長野県	松本市立源池小学校	40
⑲長野県	松本市立波田小学校	42
⑳長野県	松本市立錦部小学校	44
◎活動発表の講評		46

サミット当日の様子

◎学校林関係者との交流会	48
◎先生方の意見交換会	49
総括	
話題提供 ①・②	
ワールドカフェ方式 意見交換会発言要旨	
◎森林体験学習	55

各実行委員会（組織）の取り組み

①林野庁	58
②中部森林管理局	59
③公益財団法人 オイスカ	60
④財団法人 日本森林林業振興会長野支部	61
⑤長野県林務部	62
⑥公益財団法人 長野県緑の基金	63
⑦NPO法人 やまぼうし自然学校	64

協賛企業の取り組み

①一般財団法人セブン・イレブン記念財団	66
②三菱UFJニコス	68
③三井ガーデンホテルズ	70
④住友林業	72
⑤国土防災技術	74
⑥コカ・コーラ	76
⑦荏原グループ	77

協賛企業広告	79
--------	----

はじめに

【「学校林・遊々の森」全国子どもサミットの目的】

「学校林・遊々の森」は、子どもたちが自らの行動で学び体験する活動が行われる学習・体験活動の場です。

「学校林・遊々の森」全国子どもサミットは、この活動の取組を広げていくことを目的として、平成19年度に東京都八王子市で開催したのが始まりで、20年度の熊本県熊本市、21年度の高知県香美町、22年度の秋田県八峰町に続き、今回で5回目となる23年度は長野県松本市で開催しました。

『「学校林・遊々の森」全国子どもサミット in 信州』では、北海道、山形県、山梨県、富山県、長野県、愛知県、香川県、長崎県から20小学校の児童や先生方、一般参加者など約160名が参加し、子どもたちの学習・体験活動の発表や先生方の意見交換会などを行い、これらの情報発信を通じて、森林づくりの大切さの輪を全国に広げていこうとするものです。

【学校林とは】

明治時代に、森林の造成を通じ、青少年の林業教育、学校の基本財産の造成を目的に設定されました。

平成18年度時点で、全国の小学校、中学校、高等学校のうち、3,057校において、約2万ヘクタールが設定されています。

学校林活動は、木材価格の低迷等による林業不振や学校カリキュラムの見直しにより停滞していました。

最近になって、総合的な学習の時間の導入により、環境学習の場として、学校林活動が見直されつつあります。しかしながら、全体では各学校単独での活動にとどまり、地域的な広がりには欠けているのが現状です。

学校林活動を多くの学校に広げ、継続的に展開していくためには、学校同士の横のネットワークと地域社会、NPOの支援が課題と考えられます。

【遊々の森とは】

総合的な学習の時間などにおいて、学校等による森林環境教育の推進に寄与することを目的として、平成14年に創設された制度です。森林での学習活動、体験活動に国有林のフィールドを提供します。

自然観察、昆虫採集などの森林学習のほか、社会や理科、音楽などの授業、植林・間伐などの体験作業、野外ゲーム、ツリーハウスなどの森林の遊びの場として、継続的な利用が可能です。

平成21年度末現在、全国162箇所が設定されています。



「学校林・遊々の森」全国子どもサミット in 信州

プログラム

日時：平成23年8月4日（木）～5日（金）

開催地：長野県松本市



松本市 浅間温泉文化センター

- 13:00～13:20 オープニング
- 13:20～14:05 海外の学校林関係者との交流会
- 14:20～17:00 学校林・遊々の森における活動発表会

(宿泊施設へ移動)

- 19:00～21:00 ◎ナイトウォーク、
自然を使った遊び「ドパスアートに挑戦」
- ◎先生方等による意見交換会



松本市 美ヶ原高原

- 9:20～11:30 貴重な動植物の観察（自然散策）
- 11:30～11:45 エンディング

各小学校の取り組み

◎ P6-P45「各小学校の取り組み」基本構成◎

学校の紹介 活動場所 今後の夢、希望 など	活動発表会での プレゼン資料
--------------------------------	-------------------

左ページ

右ページ

遊々の森「やすらぎの森」の活動を通して

北海道湧別町立 芭露小学校

6年 如澤竜治・長屋奏絵

学校紹介

湧別町は、北海道の東北部、流氷の流れ着くオホーツク海沿岸の中央部に位置し、北海道で最大の湖サロマ湖を抱えた人口約1万人の町です。芭露（ばろう）は湧別市外地より12kmに位置し、国立公園「サロマ湖」に面して風光明媚な環境にあります。酪農・漁業・農業が主な基幹産業です。芭露小学校は、明治41年に始まり、児童数の減少に伴い周辺の5つの小学校と統合し現在に至っています。統合当時120名いた児童も減少し、今では全校児童49名の小さな学校です。校庭の木には、特別天然記念物のオジロワシやオオワシが来ることがあります。また、全国学校ピオトープ・コンクールで銀賞をいただいた学校池があり、子ども達は貴重な動植物に触れるよい自然環境にあります。今年は、近くにタンチョウのつがいが発見されて驚きました。



各小学校の取り組み①

活動場所の紹介

遊々の森は、サロマ湖にちょっと突き出た半島の一部です。網走国立公園指定。平成18年より、7月に遊々の森「やすらぎの森」にて森林教室（3～6年生）を開催。平成18年11月1日、「網走西部森林管理署」と「湧別町立芭露小学校」が協定の調印式を交わしました。

湧別町計呂地国有林円山自然休養林・111林班内（105.02ha）を遊々の森「やすらぎの森」と命名。平成19年に児童による看板の原画を作成し、平成20年「やすらぎの森」に看板を設置しました。



今後の夢、希望、活動計画など

- ①地球温暖化が叫ばれる中、自分たちにも『緑を増やす活動』ができるとういと思います。学校周辺の木が、いつ種子を付けるのか観察したり、種を採取して、苗作りに挑戦しています。
- ②遊々の森でも、集めた種子から苗木を作り、空いている隣接地に植林ができないかと考えています。
- ③春夏秋冬の季節ごとに遊々の森へ出かけ、木や動植物のことをもっともっと知る活動をしたいです。私たちの小さな活動から、森林の大切さがたくさんの人に伝わるとよいと思います。

遊々の森「やすらぎの森」の活動を通して

北海道 湧別町立芭露小学校
6年 如澤 竜治 長屋 奏絵

オホーツク海

冬には流氷が接岸。
流水の天使クリオネ・
ホタテ・モガニ・タラバガ
ニ・カレイ・ホッケ・オオ
ワシ・オジロワシ

森林教室



湧き水は、冷たい。森は宝箱のよう。
桑の実が甘かったよ。クルマバソウで風
車を作ったよ。

サロマ湖

日本で3番目に広い汽水湖
ホタテ・カキ・ホッカイシ
マエビ・ワカサギ・ウグイ・
オジロワシ・サンゴ草・原
生花園・今年は丹頂が飛来

樹名板の設置



木を覚えるのは難しかったよ。花・
実・葉・樹皮・冬芽に特徴があるよ。

「やすらぎの森」での活動



森の入口に看板を建てたよ。
みんなで記念写真！タラバガ・ニ

樹高測定・幹の太さ測定



目測と違ったよ。木の体積が出たよ。
太さでずいぶん違うもんだな。

芭露川

学校の隣で、初夏はワカ
サギ・秋はカラフトマ
ス・シロザケが自然産卵
しているよ。河口にはサ
ンゴ草が見られるよ。

リース・松ぼっくりリース作り・ 巣箱作り→巣箱の掃除と 巣箱の取り付け



きれいなリースが作れました。
巣箱に鳥が入るといいな。

やすらぎの森

遊々の森はサロマ湖にちょっ
と突き出た半島の一部になっ
ています。網走国立公園指定。
ヒグマ・エゾシカ・キタキツ
ネ・オジロワシ・フクロウ

＜学校周辺・地域での活動＞

- ①季節ごとに地域のフィールドを歩いて
動植物の観察と出会う活動
- ②木を知る：マザーツリー（母樹）と
ベビーツリー（稚樹）の発見
- ③隣のみその山や学校池の周辺に巣箱を掛ける。
→シジュウカラが巣立つ。
- ④ドングリの種子から苗作りに
挑戦。



＜これから自分たちでできることは…＞

- 木や森のことをもっともっと知る活動
- 春夏秋冬の季節ごとに森へ出かけ、遊んだり、木や動植物のことを知る。
- 緑を増やそうプロジェクト
- 自分たちの手で集めた種子から木を育て、木を植える。そして、緑を増やしたい。
- 植林する土地の近くの種子を使って苗をつくる。